



子どもを想う ～ファンタジー&自然に遊び、被災地を想う～

協力：住友生命保険相互会社 企画・運営：NPO法人あい・ぽーとステーション

午前の部 (10:00～12:00)

- 10:25 オープニングミニコンサート
- 10:30 ご挨拶
- 10:40 音楽絵本「こぐまの夢 (第1部)」
- 11:00 復興支援プロジェクト活動報告
- 11:20 音楽絵本「こぐまの夢 (第2部)」
- 11:35 育児専門家による子育てメッセージ (第1部)

(12:00 終了)

午後の部 (13:30～16:00)

- 13:00 開場
- 13:25 ミニコンサート
- 13:30 育児専門家による子育てメッセージ (第2部)
- 14:40 音楽絵本「こぐまの夢 (第3部)」
- 14:55 復興支援プロジェクト活動報告 (第2部)
- 15:10 子どもと森へ出かけてみれば
- 15:50 フィナーレ

(16:00 終了)

音楽絵本「こぐまの夢」

こぐまさんの夢の世界へ

今回の音楽絵本は、「こぐまの夢」というテーマで3部に分け、こぐまさんが夢で見たことをみんなでお手伝いしながら、再現していきました。ピアノは、鈴木香代子さん。バイオリンは、御船あずみさん。チェロは、浦川麗さんに演奏していただきました。絵本創作とライブペイントは蒲原元さんでした。

こぐまさんの1つ目の夢は…まるさんかくしかくの図柄でした。皆でリトミックをしながら絵本に貼っていきました。それがライブペイントでまたたくまに動物の絵に変身。まるがライオンさんになったり、しかくがぞうさんになったりしました。

2つ目の夢は…お姫様がバレエを踊っています。みんなと一緒に演奏にあわせて2拍子3拍子のリズム遊びをしました。

3つ目の夢は…遊園地に行った夢でした。みんなでお空にお星さまをいっぱい貼りました。

みんながこぐまさんの夢の実現をお手伝いしてくれたおかげで、とても素敵な夢になりました。ありがとうございました。



子どもと森へ出かけてみれば

小西 貴士 (写真家&保育士)

自然に遊ぶ子どもたちの

スライドショー

小西貴士さんは、保育士で写真家。八ヶ岳南麓、標高1,400Mの清里高原に広がる森と野原で「キープ森のようちえん♪」を中心に子どもたちとくずほぐれつながら、「森で育つ子どもたち」の姿をカメラにおさめておられます。

その中の何枚かの写真とことばを紹介していただきました。

自然の植物や動物にふれながら遊ぶ子どもの姿がとても表情豊かで、生き生きとしている様子が、写真から伝わってきました。

とても心温まるスライドショーでした。



育児専門家による子育てメッセージ

大日向 雅美・汐見 稔幸・新澤 誠治・小西 行郎・榊原 洋一

先生方の子ども時代の写真を拝見しながら、子ども時代のお話をお伺いしました。小さい頃にしていた習い事や、ごきょうだいのお話など、楽しいエピソードで会場が盛り上がりました。また会場から出た質問の一つ一つに丁寧にお答えいただく時間もあって、楽しくも盛りだくさんな時でした。



復興支援プロジェクト活動報告

澤登 早苗 (恵泉女学園大学大学院教授)

住友生命保険相互会社「未来を築く子育てプロジェクトの東日本大震災緊急支援プログラム」の助成を受け、恵泉女学園大学澤登ゼミが南三陸と福島へ支援に行きました。パワーポイントを使って南三陸と福島で行った支援を写真などで報告していただきました。

また、Seed letter を会場の皆さんにお配りし、メッセージを書いていただきました。Seed letter と一緒にルッコラの種を付けて家に持ち帰って育てていただく。そして、種ができたらいい・ぽーとへ持ってきていただくことをお願いしました。ルッコラを育てることを通じ、循環型で支援するという企画は素晴らしいと思いました。

皆さんからいただいたメッセージを宮城へお届けしました。



3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしました。私達は、これからも被災地の方々のことを「忘れない」「常に想いつづけたい」と思います。これまで4回に亘って、住友生命保険相互会社の助成を受けて本キッズフェスタに参加をさせていただいてまいりました。今年は、これまでの集大成の意味を込めて、参加者全員で「子どもと被災地を想うフォーラム」を開催いたしました。

音楽に合わせてバレエやリトミック、画家による即興の絵本創りを通して、子どもを中心としたファンタジーの世界へ。次に本法人の理事で、さまざまなメディアを通し育児相談等で活躍している心理学者・教育学者・小児科医らが、自身の子ども時代を振り返りながら、会場の皆さんの育児相談をお受けするコーナーへ。続いて、住友生命保険相互会社「未来を築く子どもプロジェクト」の復興緊急支援助成を受けたグループによる「被災地の子どもたちを想う」活動の報告を。最後は、自然の中で戯れる子どもの姿と映像を通して、子どもの育ちを見守り、自然の神秘を味わう・・・と、子どもを大切にする一日を参加者の皆様と共に過ごしました。